

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。

①尖閣諸島の所轄

No.4 魚釣島、久場島が八重山郡所属であることを示す資料
土地 [第一〇 島嶼ノ位置及周囲面積]
1900年(明治33年)6月28日

資料概要

沖縄県が、管内の土地、人口、農業、財政、警察等についてまとめた統計書(明治28年分、明治29年分の合冊)のうち、「土地」の部、「島嶼ノ位置及周囲面積」の項に掲載された、尖閣諸島の久場島、魚釣島についての記載。島嶼の名称、所属、地名、位置、周囲、面積ならびに里程(距離)が示されている。両島ともに所属は八重山郡、地名は石垣島となっている。

所属の記載から、明治29年勅令13号「沖縄県郡編制ニ関スル件」(→No.3)の公布によって、尖閣諸島が八重山郡の所属となったことが確認できる。

なお、尖閣諸島4島(魚釣島、北小島、南小島、久場島)は、1902年(明治35年)の沖縄県令49号によって大浜間切登野城村に編入されるが(→No.7、No.8)、1896年(明治29年)はその前であるため、地名に登野城村の記載がない。

内容見本

沖縄県統計書

凡例

一 本書ハ明治二十八、二十九、両年分合併編纂シタルモノニシテ本書中暦年調ニ係ルモノハ明治二十八、二十九、両年ニ於ケル事実ヲ掲ケ会計年度ニ係ルモノハ明治二十七、二十八、両年度ノ事実ヲ掲載スルモノナリ而シテ尚ホ四五年前ニ於ケル彼我事物ノ消長如何ヲ対此センカ為メ出来得ル丈ケノ事実ヲ蒐集シ各表ノ末尾ニ於テ総テ之ヲ列載シ以テ通覽ノ便ニ供セリ

一 本書中部門ヲ分テ二十三門トス第一土地、第二戸数及人口、第三農業、第四牧畜、第五山林、第六漁業、第七鎮業、第八工業及製造第九土功、第十商業、第十一貨幣ノ融通、第十二貨鈔及物価、第十三交通、第十四貯蓄、第十五褒賞、第十六衛生、第十七社寺、第十八教育及新聞紙、第十九警察、第二十監獄、第二十一財政、第二十二国税、第二十三官吏及文書是ナリ

(略)

明治三十三年六月 沖縄県内務部第一課

(略)

名称 魚釣島(無人) 久場島(無人)

所属 八重山郡 同

地名 石垣島 石垣島

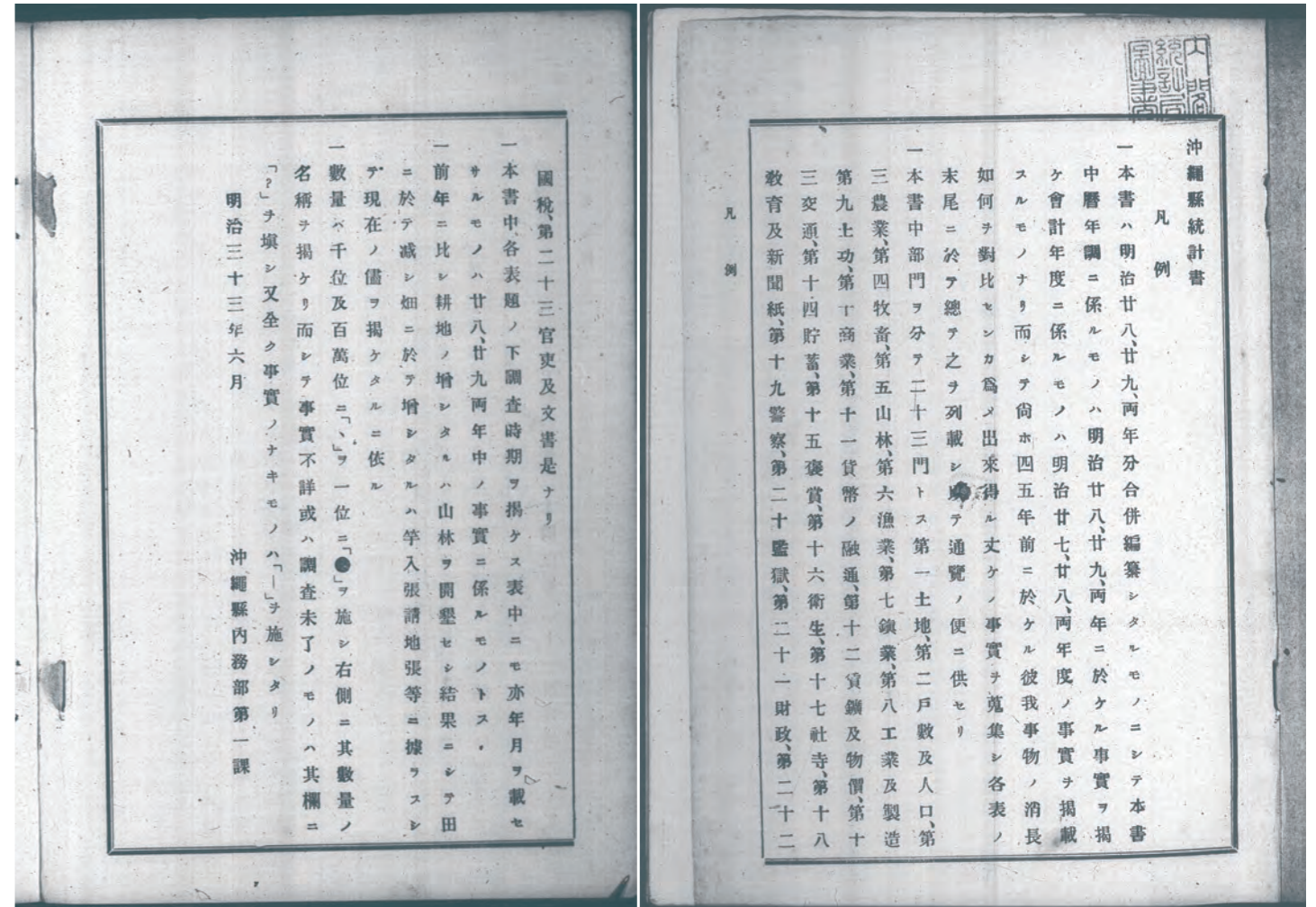
(略)

周囲[※] 二・一三 三・一一

(略)

※ 久場島の周囲が3里11丁(約13km、1里=3.9273km、1丁=109.09mとして計算した場合)、魚釣島の周囲が2里13丁(約9.3km)と記載されているが、実際は久場島より魚釣島の方が周囲は大きく、数値は正確ではない可能性がある。

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。



所蔵:沖縄県公文書館

作成年月日	1900年(明治33年)6月28日
編著者	沖縄県内務部第一課
発行者	沖縄県
収録誌	沖縄県統計書明治28-29年
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	沖縄県公文書館
利用方法	沖縄県公文書館で利用手続きを行う

土地	島名		所属地名	測点地名	経度	緯度	周囲面積	本島へノ距離
	島名	島名						
多良間島	宮古郡	多良間島	多良間島	?	?	?	?	二六・〇〇
水納島	宮古郡	水納島	多良間島	?	?	?	?	一・五〇
下地島(無人)	宮古郡	下地島	下地間切	?	?	?	?	二・〇〇
石垣島	石垣郡	石垣島	石垣間切	?	?	?	?	二四・〇〇
竹富島	石垣郡	竹富島	石垣間切	?	?	?	?	三・七〇
小濱島	宮古郡	小濱島	宮古間切	?	?	?	?	六・〇〇
西表島	宮古郡	西表島	三間切	?	?	?	?	二七・六〇
西表島	宮古郡	西表島	宮古間切	?	?	?	?	三三・〇〇
西表島	宮古郡	西表島	宮古間切	?	?	?	?	三三・〇〇
波照間島	宮古郡	波照間島	大濱間切	?	?	?	?	三三・〇〇
波照間島	宮古郡	波照間島	大濱間切	?	?	?	?	三三・〇〇
新城島	石垣郡	新城島	石垣間切	?	?	?	?	六・〇〇
黒島	石垣郡	黒島	石垣間切	?	?	?	?	八・〇〇
真那國島	石垣郡	真那國島	石垣間切	?	?	?	?	八・〇〇
茅真島(無人)	石垣郡	茅真島	石垣間切	?	?	?	?	二九・〇〇
内離島	石垣郡	内離島	石垣間切	?	?	?	?	二〇・〇〇
外離島(無人)	石垣郡	外離島	石垣間切	?	?	?	?	二・五〇
仲御拜島(無人)	石垣郡	仲御拜島	石垣間切	?	?	?	?	二・七〇
入場島(無人)	石垣郡	入場島	石垣間切	?	?	?	?	三・〇〇

所蔵：沖縄県公文書館

年次	平均		最高	最低	平均		最高	最低	水蒸気	湿度	雲量	
	湿度	湿度			湿度	湿度						
二十五年	七九・七	七三・〇	一・三三	七〇・四	九・五	三・九	三・八	八・三	七・八	一・三三〇	一六・二	七・八
二十六年	七〇・九	七二・一	三・七	七五・八	一〇・三	三・六	三・〇	七・七	七・七	一・三三	一五・二	七・五
二十七年	七〇・五	七三・六	三・三	七六・七	八・三	三・〇	三・三	八・六	七・八	一・三三	一五・九	七・六
二十八年	七〇・二	七二・六	二・三〇	七五・五	七・二	三・七	三・二	八・九	七・七	一・三三	一五・六	七・七
二十九年	七〇・六	七二・〇	一・三三	七五・〇	七・三	三・三	三・八	七・六	七・七	二・二六	一六・二	七・七

本表及ヒ以下二表ハ那覇測候所ニ於テ観測セシモノトス「空氣ノ壓力ハ耗ヲ以テ示シ温度ハ攝氏ノ度ヲ以テ示ス」水蒸氣張力ハ空氣中ニ含有スル水蒸氣ノ分量即チ重量ヲ示ス温度ハ空氣ノ乾温セル割合ヲ示スモノニシテ其度ハ空氣ノ水蒸氣ヲ飽和

所蔵：沖縄県公文書館